

10. キーワード

(1) 器官サイズ	(2) クオラムセンシング	(3) FGFシグナル	(4)
(5)	(6)	(7)	(8)

11. 現在までの進捗状況

(区分)(2) おおむね順調に進展している。

(理由)

当初の計画に遅れが出そうだったので、追加の研究を行い、この仮説を証明できる系を追加で構築できたので、概ね順調と判断している。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

Fgf8a-mVenusのTgラインの樹立を再度試みるとともに、WTの状況で、FGFシグナルの活性化レベルとクッペル胞のサイズの関係性を定量的に解析する。さらに、FGFシグナルを可視化できるTgとFgf8a変異体を交配することで、Fgf8aの量、シグナル強度、クッペル胞のサイズの3者の関係性を解析する。さらに得られたデータを利用して数理モデルを構築する。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

(理由)

(使用計画)

(課題番号： 16K14737)

(注) ・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

13. 研究発表 (平成 28 年度の研究成果)

〔雑誌論文〕 計 (1) 件 / うち査読付論文 計 (0) 件 / うち国際共著 計 (0) 件 / うちオープンアクセス 計 (0) 件

著者名		論文標題				
Matsui T, Bessho Y		Analyzing ERK signal dynamics during zebrafish somatogenesis				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Methods Mol. Biol.	無	1487	2017	368-378	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
10.1007/978-1-4939-6424-6_27						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

〔学会発表〕 計 (1) 件 / うち招待講演 計 (0) 件 / うち国際学会 計 (1) 件

発表者名		発表標題	
Matsui T		Size sensing and scaling in zebrafish Kupffer's vesicle	
学会等名	発表年月日	発表場所	
7th Asia Oceania Zebrafish Meeting (国際学会)	2016年10月01日 ~ 2016年10月04日	Exploration Theatre Matrix, Singapore	

〔図書〕 計 (0) 件

著者名		出版社		
書名		発行年	総ページ数	

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計(0)件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

16. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究： -

17. 備考

--